MOVE

2024情報学部案内

Faculty of Informatics

静岡大学

Shizuoka University

現代情報社会を「豊かな人間性で結ばれた社会」にするために。

私たちが生きている現代社会は、コンピュータとネットワークを用いたシステムに支えられています。少子高齢化や地方再生、グローバル化など私たちが抱える多くの課題を解決するためには、ICT（情報通信技術）の仕組みや社会にもたらす影響を理解しつつ、さまざまな分野で ICT を実践的に活用する能力を身につけることが必要です。

静岡大学情報学部は「文工融合」を旗印に、広い視野から情報化に取り組むべく、国立大学で初めて設置された情報学の総合的学部として発展してきました。ここでは、コンピュータ科学（計算機科学）の最先端の技術から、情報技術の国・企業・日常生活における実践と応用、私たちが暮らしやすい情報社会のデザインまで、さまざまなことを学ぶことができます。

さあ皆さん、一緒に情報学を学んでいきましょう！

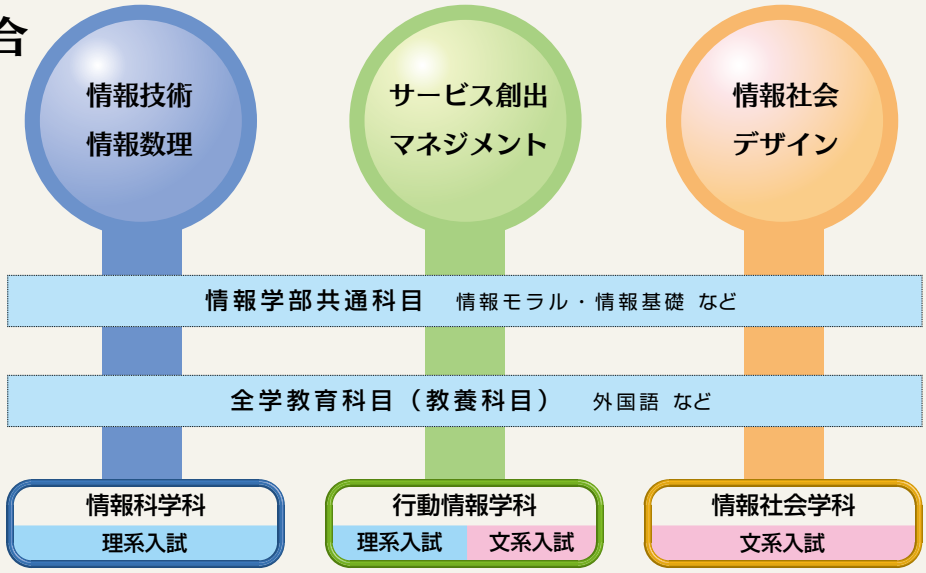
静岡大学
キャンパスキャラクター
“しずっぴー”

情報学部の魅力

- 文工融合 Integration of Humanities and Technologies
- 多様な入試 Entrance Examinations
- 幅広い研究分野 Research
- 豊かなキャリア形成 Careers
- 社会との連携 Partnerships

3学科体制による文工融合

情報社会・情報技術の急速な進展に伴い、新たに必要とされる人材を育成するために、3学科体制で教育を行っています。3つの学科は、それぞれコンピュータ科学、情報サービス設計、情報社会デザインという中心テーマを持ちながらも互いに連携し、技術の観点から（情報科学科）、データやサービスの観点から（行動情報学科）、社会や人の観点から（情報社会学科）、文工融合の情報学を教授し、高度情報社会をリードする多様な人材を育成します。



DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE

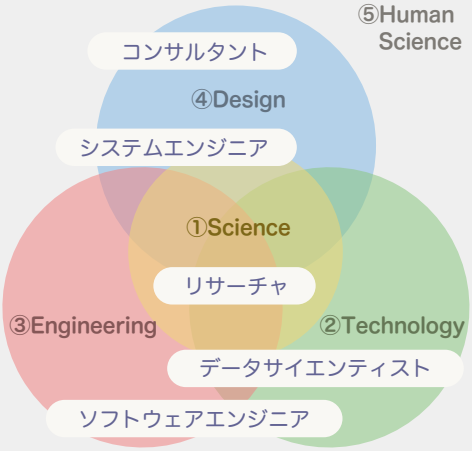
情報科学科

教育理念

多様な専門分野で切り拓かれた知識・技術を、革新的な情報技術(IT)でコーティングすることによって汎用化し、様々な他分野へ展開可能にする応用学問分野 ― それが「情報科学」の本質です。情報科学が、知識と技術、技術とシステム、システムと人、人と企業、企業と世界をつなげていきます！

情報科学科では、IT における広い知識と高い専門性の修得を通して、「世界（ヒト、モノ、コト）をつなぐ基礎力」を育成します。人間や社会と調和した情報システムを創造する能力の研鑽により、文工融合の理念で「世界をつなぐ応用力」を開発します。

世界をつなぐ情報科学の5つの技術要素



情報科学によって世界が有機的につなげられ、新たな製品・システム・サービスが次々と実現されていきます。情報科学が、人を、企業を、社会を、そして地球を機能拡張します。

この「世界をつなぐ力」を構成する技術要素が、① Science に関する第 1 レイヤ、② Technology、③ Engineering、④ Design が融合的に相互連携する第 2 レイヤ、⑤ Human Science を担う第 3 レイヤから成る「情報科学の 5 要素」です。

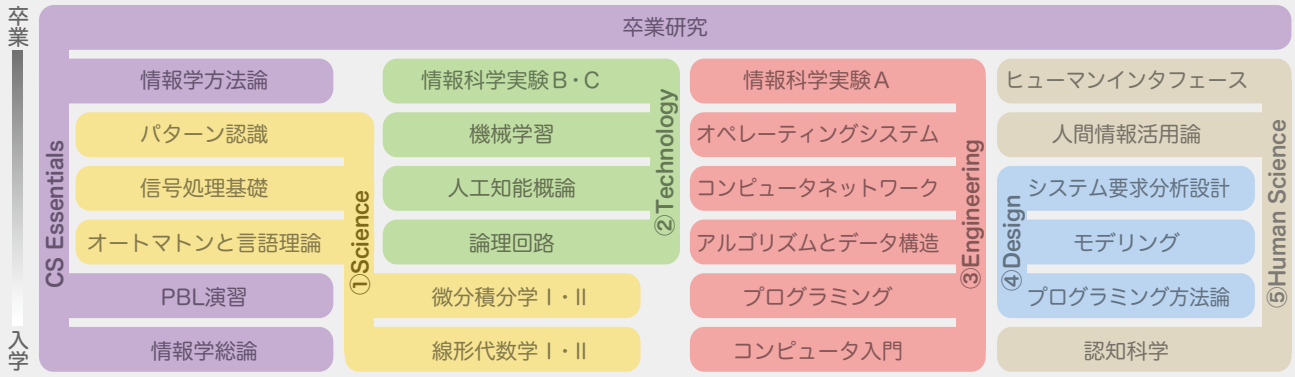
研究テーマは、情報科学の基礎から応用まで、多彩な研究分野をカバーしており、学外の研究機関や企業との共同研究も幅広く実施しています。

情報科学科の教育は、情報科学の 5 要素を効果的に吸収できるように設計されています。情報科学を自在に操る人材が世界を変えていきます。文工融合のこの環境で、情報科学の無限の可能性にチャレンジしてください。

カリキュラムの特徴

情報科学の進化は急激で、その領域が爆発的に広がり続けています。情報科学科では、この進化に対応してカリキュラムを発展させており、コンピュータ科学を軸に、最先端の情報科学も横断的に学ぶことができます。

情報の数理的側面の学習から始め、IT の中核要素（ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データベース）は少人数グループワークでの実験・演習を通じて理解とスキルを深めます。卒業研究を核とするエッセンシャル科目では、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、コミュニケーション能力などの総合的な育成を行い、高度な研究開発にも従事できる応用力の修得を目指します。学生の半数が大学院に進学しています。



研究室情報の入手先 情報科学科の研究室の詳細は、以下のWEBページをご覧ください

情報科学科 教員／研究室紹介ページ https://www.inf.shizuoka.ac.jp/labs/science.html

DEPARTMENT OF BEHAVIOR INFORMATICS

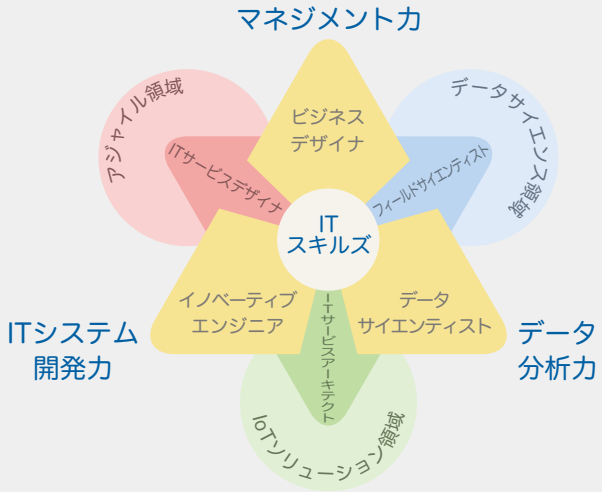
行動情報学科

教育理念

人工知能（AI）の急速な進化と、クラウド/モバイル/IoT（Internet of Things）/ソーシャルへの移行が本格化し、情報革命は新たな段階に入りました。いま、情報通信技術によって日々蓄積される膨大なデータから新たな社会価値を創造する人材が求められています。

行動情報学科では、社会で実践的に情報通信技術を活用する教育および、人間の行動を情報システムで扱う教育を行い、次代の情報社会でリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。

「ITシステム開発力 × データ分析力 × マネジメント力」



「人工知能（AI）やIoTなどを駆使して新たな情報サービスを生み出したい」、「ビッグデータの解析から社会課題を解決したい」、「データやITシステムで勝負する経営者になりたい」という志向を持っていれば、行動情報学科は学びの場に最適です。

行動情報学科で「ITシステム開発力×データ分析力×マネジメント力」を身に付け、自ら情報社会の未来を切り拓いてください。

【専門分野例】

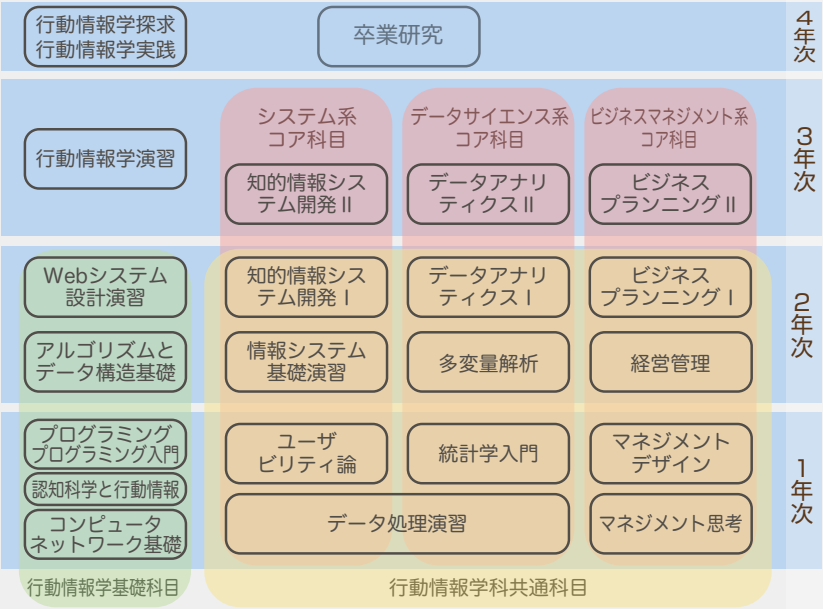
高度な自動解析や人間の働きの代替を可能にするデータマイニングや人工知能、人間の行動を深く分析する心理学・認知科学・学習理論、情報技術と融合した社会システム、ビジネスを支える組織・行動・経営のマネジメントなど

カリキュラムの特徴

行動情報学科では、情報社会における基礎素養としての様々なITスキルをはじめ、情報システムでイノベーションを起こすITシステム開発力や、データを読み解くためのデータ分析力、そして世界に通用するマネジメント力を学びます。

また、アクティブラーニングやPBL（Project-Based Learning）によって、文系・理系にとらわれない実践的な学びの機会から課題解決の実践力を培っていきます。

そして卒業研究では、幅広い専門分野を持つ教員が指導を行い、最先端の研究領域や分野融合的な新しいテーマに取り組みます。また、企業勤務経験を有する教員も在籍し、実社会に直結した研究と卒業後の進路に関する指導が受けられます。



研究室情報の入手先 行動情報学科の研究室の詳細は、以下のWEBページをご覧ください

行動情報学科 教員／研究室紹介ページ https://www.inf.shizuoka.ac.jp/labs/behavior.html

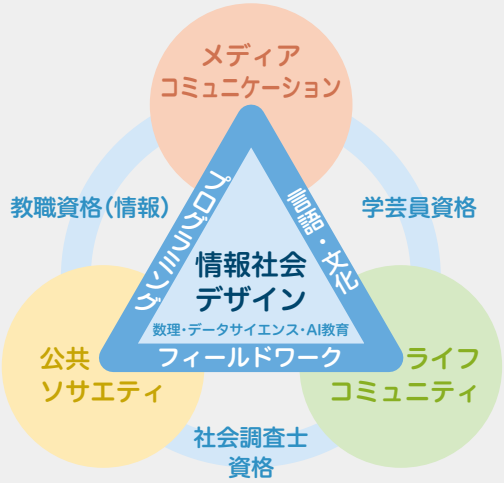
DEPARTMENT OF SOCIO-INFORMATION STUDIES

情報社会学科

教育理念

社会の情報化とネットワーク化が進み、インターネットを通じた新しいメディアやサービスが登場するなど、私たちの生活はとても便利で快適なものとなりました。その一方で、プライバシー侵害や著作権の問題、人間関係への影響の問題など、新しい問題も次々に生じています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、現在の情報社会をもう一度見直し、情報通信技術の発展に対応した新しい情報社会を「デザイン」できる人材を育成します。

多彩な学問分野からの情報社会研究



新しい情報社会を「デザイン」するためには、社会に関する様々な学問分野が必要になります。情報社会学科には多彩な教員が揃っており、それぞれの分野から「情報」について研究しています。その専門は、法学、経済学、社会学、地理学、政治学から、メディア学、文化人類学、歴史学、文学、言語学、さらには哲学、倫理学といった分野にまで広がっています。きっと、自分の興味・関心に合った学び方ができるでしょう。

研究室では、少人数制ならではのきめ細やかな指導を受けることができます。情報社会研究に必要な思考力や技術力、調査・分析能力を高めたうえで、各自が設定した研究テーマを徹底的に追究し、その成果を卒業研究としてまとめます。情報社会研究を通じて培った力は、必ずや皆さんが将来を切り拓く助けになることでしょう。

カリキュラムの特徴

情報社会学科では、人文社会科学の様々な分野から「情報」について学べます。具体的には「メディア／コミュニケーション」「ソサエティ／公共」「ライフ／コミュニティ」という３つの系が用意されており、自身の関心に応じて様々な系を幅広く学んだり、特定の系を集中的に学んだりできます。

また、情報社会学科では、学科専門のデータサイエンスに関するカリキュラムも用意されており、情報社会の分析に必要な数理系のスキルも無理なく学ぶことができます。さらに、他学科との共通科目などを通じて、情報技術に関する知識も得られます。

興味・関心や将来目指す進路に応じて学び方も「デザイン」できる点が特徴です。

※上記カリキュラムは、2024 年度の入学者から適用予定のものです。

研究室情報の入手先 情報社会学科の研究室の詳細は、以下のWEBページをご覧ください

情報社会学科 教員／研究室紹介ページ https://www.inf.shizuoka.ac.jp/labs/society.html

ENTRANCE EXAMINATION INFORMATION

入試情報

※新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、ここに記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することもあります。変更する場合には、本学学部入試ウェブサイトに掲載しますので、ご確認下さい。

入試科目（令和６年度）

情報学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、総合型選抜など、多様な受験チャンスを用意しています。

	総合型選抜（専門学科及び総合学科枠）	学校推薦型選抜	一般選抜（前期）	一般選抜（後期）
情報科学科	基礎学力試験 「英語」、「数学」もしくは「数学・情報」 面接	大学入学共通テスト （5教科6科目または4教科6科目） 面接	大学入学共通テスト （5教科7科目） 個別試験（数学、英語）	大学入学共通テスト （5教科7科目） 個別試験（数学）
行動情報学科		大学入学共通テスト（3教科4科目） グループワーク および個人レポート	大学入学共通テスト 区分A（理系）（5教科7科目） 区分B（文系）（6教科7科目または5教科7科目） 個別試験（英語、総合）	大学入学共通テスト （6教科7科目または5教科7科目） 個別試験（英語）
情報社会学科		大学入学共通テスト （4教科5科目） 面接	大学入学共通テスト （6教科7科目または5教科7科目） 個別試験（英語、小論文）	大学入学共通テスト （6教科7科目または5教科7科目） 個別試験（英語）

※詳細につきましては「入学者選抜に関する要項」、「募集要項」をご確認ください。行動情報学科の学校推薦型選抜における選抜方法につきましては、特にご注意のうえご確認ください。

※行動情報学科の一般選抜（前期）の「総合」は「現代文B」（情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現）、「数学Ⅰ」（データの分析）、「数学Ｂ」（確率分布と統計的な推測）を中心に、現実的課題に関連したデータ分析に関する問題を出題します。

令和５年度入試のデータ

備考：合格者数には追加合格者は含まれない。受験者数には追試験受験者を含む。

情報科学科

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
前期	53	175	168	56
後期	30	217	92	35
学校推薦型	5	30	29	5
総合型（専門枠）	10	29	29	11
合計	98	451	318	107

行動情報学科

		募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
前期	区分A	29	46	37	29
	区分B	15	22	21	16
後期		20	191	71	27
学校推薦型		5	11	11	5
合計		69	270	140	77

情報社会学科

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
前期	40	88	78	49
後期	20	206	74	24
学校推薦型	8	8	8	5
合計	68	302	160	78

３年次編入（情報科学科のみ）

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
一般	若干名	20	20	5
推薦	若干名	3	3	2
合計	若干名	23	23	7

入試情報の入手先

詳細な入試情報、及びその他の入試（3年次編入試験、私費外国人入試、アジアブリッジプログラムの入試）につきましては、下記のWebページをご覧ください。

情報学部 入試情報ページ

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/index.html

学部入学試験の概要、入試Q&Aなどをご覧になれます。

静岡大学 学部入試専門ページ

https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

募集要項をご希望の方は、こちらで入手方法をご確認ください。

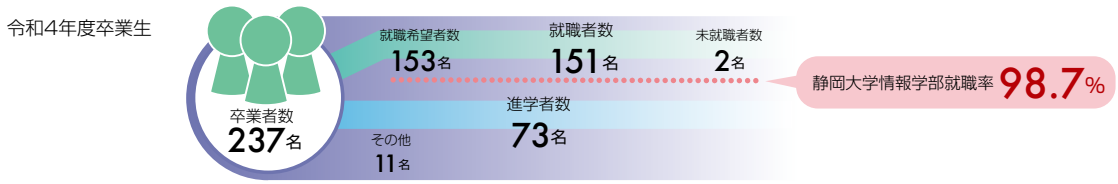
POST GRADUATION

卒業後の進路

卒業後の進路

大学・大学院で学んだ専門知識を活かした技術者・研究者をはじめ、専門性の高い総合職など幅広い分野に就職先を広げています。

就職データ

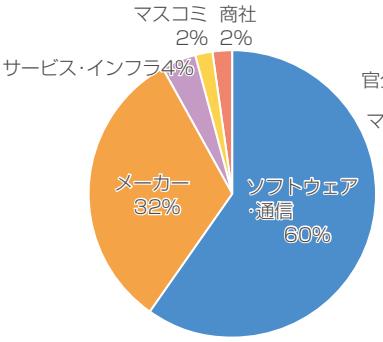


主な就職先 令和4年度

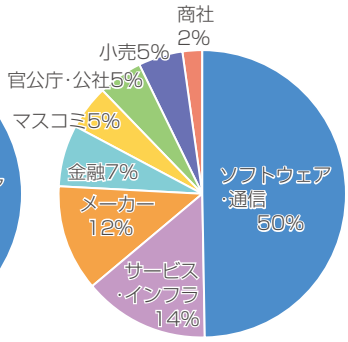
ソフトウェア・通信	アミック　NTTドコモ　ジェイアール東海情報システム　静岡情報処理センター 電通国際情報サービス　日鉄ソリューションズ　ヤフー　LINE　楽天グループ
メーカー	スズキ　デンソー　トヨタ紡織　日本電気　富士通　三菱電機　ヤマハ発動機　ヤマハ
サービス・インフラ	エン・ジャパン　遠州鉄道　中部電力　TOKAIホールディングス　日本総合研究所 野村不動産パートナーズ　富士経済グループ
マスコミ	サイバーエージェント　中日新聞社　東北新社　日経映像　博報堂プロダクツ フジクリエイティブコーポレーション
金融	岡崎信用金庫　静岡銀行　大樹生命保険　浜松いわた信用金庫
官公庁・公社	磐田市役所　藤枝市役所　松阪市役所　みよし市役所

※大学院総合科学技術研究科情報学専攻を含む

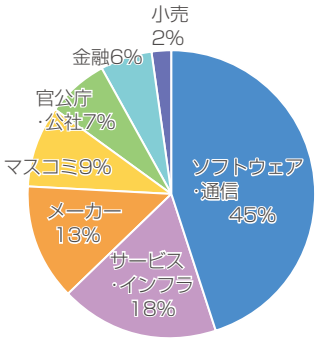
学科・大学院別の就職先の割合 令和４年度



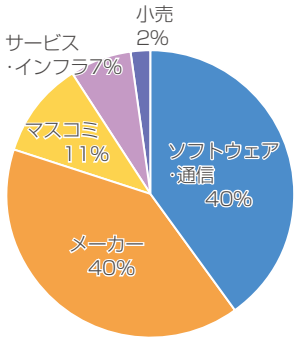
情報科学科



行動情報学科



情報社会学科



大学院総合科学技術研究科
情報学専攻

主な進学先 令和４年度

静岡大学大学院	東京大学大学院	東京工業大学大学院	北陸先端科学技術大学院大学	名古屋大学大学院

主な進路先情報の入手先

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/course/course.html

大学院入試情報の入手先

大学院総合科学技術研究科情報学専攻

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html

資格取得

◆在学中に所定の科目を修得することによって以下の資格が取得できます。

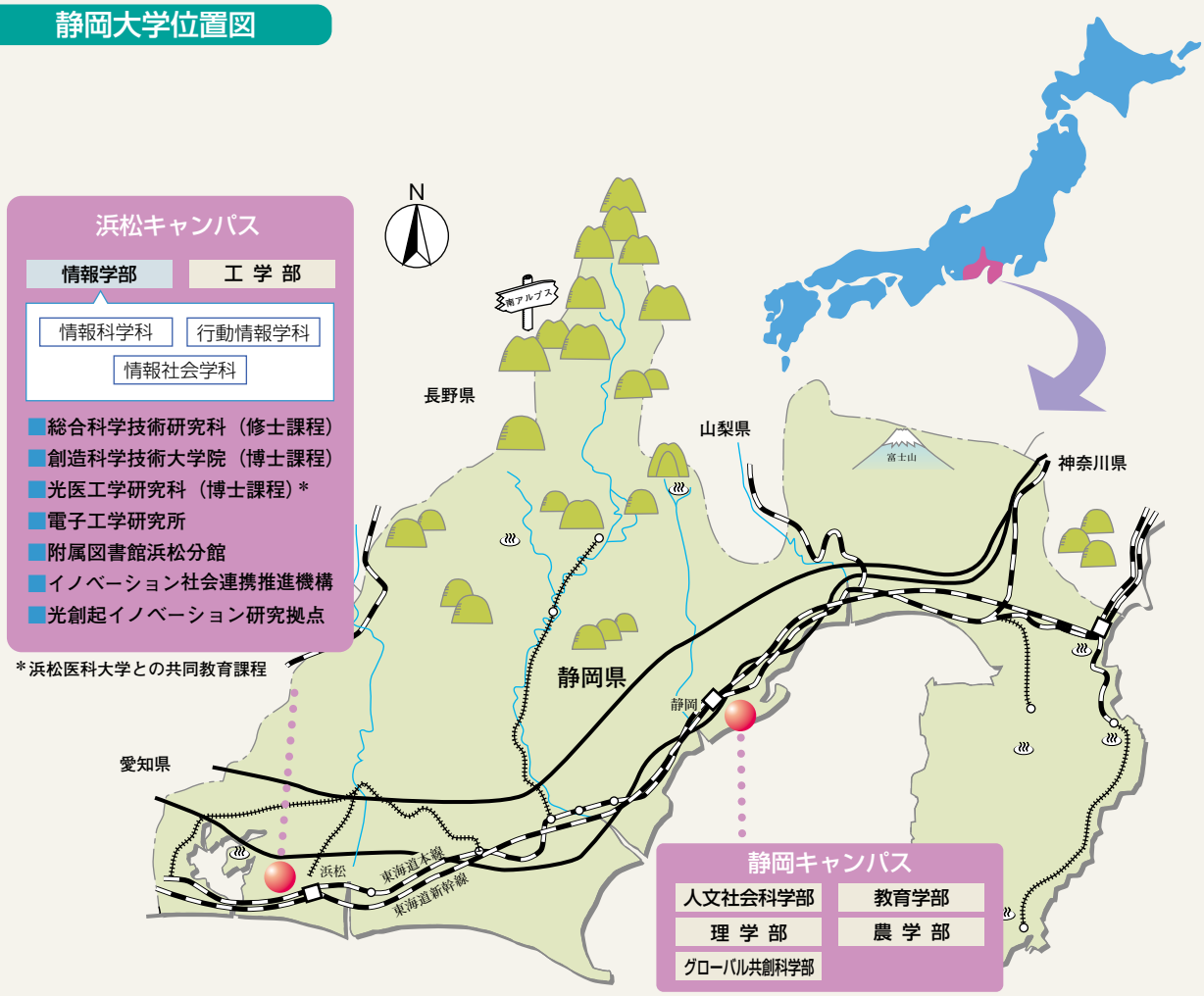
- ●教職資格（情報）
- ●学芸員資格
- ●社会調査士資格

［情報社会学科の学生が資格を取得可能］

◆多くの学生が自分で勉強して、以下の法人などで実施されている資格を取得しています。

○独立行政法人／情報処理推進機構
情報処理技術者試験
○公益財団法人／画像情報教育振興協会

静岡大学位置図



静岡大学情報学部位置図

国立大学法人
静岡大学情報学部
〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1
電話 053（478）1510（情報学部教務係）
FAX 053（471）0249
URL: https://www.inf.shizuoka.ac.jp/